

# 高齢者のヘルスリテラシー向上のための教材開発：成果物紹介

## 第37回医学情報サービス研究大会（MIS37）

三輪眞木子(放送大学) 佐藤正恵(千葉県済生会習志野病院)

磯部ゆき江(二松学舎大学) 山下ユミ(京都府立図書館) 阿部由美子(放送大学)

### 目的

- ・ 高齢者のヘルスリテラシーを涵養するために制作した7章と用語解説で構成する教材案を紹介する。
- ・ この教材案を用いて実施した全8回のWeb授業の形成的評価の概要を述べる。

### 方法

- ・ 医療者計10名を対象に、2020年2月～6月に、対面、Web、電話により半構造化インタビューを実施し、1)健康維持に前向きな高齢者の特徴、2)医療者とのヘルスコミュニケーションが取れている高齢者の特徴、3)治療に関する意思決定に積極的に参加する高齢者の特徴、4)健康寿命を維持するために日ごろから高齢者に心がけてほしいことを尋ねた。
- ・ 2021年1月～12月に高齢者に調査票を配布し、有効回答102件を分析した。ヘルスリテラシーレベルとインターネット利用に関する質問(選択肢)への回答には、統計手法による分析を、健康自己管理に関する質問(自由記述)への回答には、内容分析を実施した。
- ・ 調査結果を踏まえて教材を制作しWeb授業を実施して受講生7名の教材評価レポートを提出の内容分液を実施する。

### 医療関係者のインタビュー調査の結果

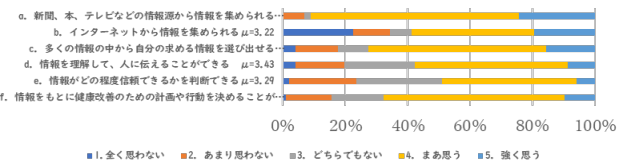
健康維持への取り組みは女性の方が男性より積極的なこと、定年等で仕事を辞め、地域と関連せずに孤立する男性に課題があること、スマホなどのICTツールを使いこなせる高齢者が増えており、インターネット上の健康医療情報を活用する高齢患者は健康医療情報への関心が高く、自分で調べて治療に取り組むことが明らかになった

ID	日時	方法	職種
Af	2月1日 60分	対面	保健師
Bf	2月13日 30分	対面	医師
Cf	2月13日 30分	対面	管理栄養士
Df	2月14日 30分	対面	医師
Em	2月25日 60分	対面	医師
Ff	2月25日 60分	対面	看護師
Gf	3月5日 30分	対面	看護師
Hm	4月16日 20分	Web	理学療法士
If	6月7日 30分	電話	看護師
Jf	6月28日 30分	対面	看護師

### 高齢者のアンケート調査の結果

Communicative and Critical Health Literacy (CCHL) 尺度により測定した回答者のヘルスリテラシーレベルを従属変数とし、年齢、性別、インターネット利用の有無を独立変数としてt検定を実施した結果、「多くの情報の中から自分の求める情報を選び出せる(有意確率.001)」「情報を理解して人に伝えることができる(有意確率.088)」「情報がどの程度信頼できるかを判断できる(有意確率.056)」についてインターネット利用者は非利用者と比較してヘルスリテラシーレベルが高いことが示された。年齢について差異は認められなかった。性別では「情報を理解して、人に伝えることができる(有意確率.072)」について女性が男性よりヘルスリテラシーレベルが高い傾向がみられた。

#### 回答者のヘルスリテラシーレベル



### 教材の概要

- 第1章：ヘルスリテラシーは健康維持に欠かせない
- ・ヘルスリテラシーという言葉の意味を説明できる
  - ・健康を維持するためにヘルスリテラシーがなぜ必要かを説明できる
  - ・ヘルスリテラシーを高めるにはどうすればよいか説明できる
  - ・健康や医療に関する情報を探るときには複数の情報源を調査する

- 第3章：図書館で健康・医療情報を調べる
- ・公共図書館で健康や医療に関する本を借りることができる
  - ・公共図書館の医療に関する本が置いてある場所を見つめられる
  - ・公共図書館で本や雑誌の探し方について図書館員に質問できる
  - ・公共図書館で健康や医療に関する雑誌記事を探して読むことができる
  - ・公共図書館の本をパソコンやスマホで検索できる
  - ・公共図書館のパソコンで医療に関する論文を検索できる
  - ・データベースの検索結果から論文の本文を入手することができる
  - ・近隣の図書館が所蔵していない本を他の図書館から借りることができる
  - ・図書館の出版年を確認できる
  - ・雑誌論文の出版年を確認できる

- 第5章：専門的な知識を得るために医学情報を探す
- ・医学情報の科学的根拠があるかどうかを説明できる
  - ・診療ガイドラインを読んだことがある
  - ・診療ガイドラインがどんなものかを説明できる
  - ・診療ガイドラインをインターネットで検索できる
  - ・診療ガイドラインを公共図書館で閲覧できる
  - ・診療ガイドラインで分からないことがあれば医療者に質問できる
  - ・健康や医療に関する新聞・雑誌記事の信頼性をチェックできる
  - ・インターネットにはフィルターバブル問題があることを知っている
  - ・検索エンジン・グーグルの検索オプションの使い方を知っている
  - ・グーグルスカラーの使い方を知っている

- 第2章：ネット社会からごぼれおかないために情報格差をなくす
- ・インターネットは高齢者の日常生活に役立つ
  - ・インターネットは健康や医療に関する情報を得るために有用だ
  - ・パソコンやスマホの正しい使い方を学びたい
  - ・インターネットを安全に利用するにはどうすればよいか知りたい
  - ・インターネットが使えると自分の健康を維持するために有利だ
  - ・パソコンやインターネットの正しい使い方を他の人に教えたい
  - ・健康管理アプリを毎日の件数維持に活用したい
  - ・インターネットでプライバシーが侵害されないように注意している
  - ・SNSを利用して家族や友人とつながることは大事だ

- 第4章：インターネットで健康・医療情報を調べる
- ・パソコン・スマホ・タブレット等を自分で操作してインターネットを利用できる
  - ・ヤフーやグーグル等の検索エンジンでウェブページを検索できる
  - ・ウェブページの情報を誰(どの機関)が発信しているかを確認できる
  - ・ウェブページの情報がどんな目的で発信されているかを判断できる
  - ・ウェブページの情報に科学的根拠があるかどうかを判断できる
  - ・ウェブページの内容の信頼性を確認できる
  - ・インターネットには誤った情報も掲載されている
  - ・検索エンジンには検索する人の知りたい情報だけを選んで出す機能がある
  - ・インターネットで検索するときは複数の情報源を確認すべきである

- 第6章：社会や家族・地域とつながる
- ・居住地域の人々とのつながりを大切にしている
  - ・家族とのつながりを大切にしている
  - ・仕事以外の友人との付き合いを大切にしている
  - ・仕事やボランティアなどの活動に取り組んでいる
  - ・趣味やサークル活動などの情報を探ることができる
  - ・困ったときに頼ることのできる人がいる
  - ・病気や健康に関して相談できる人がいる
  - ・病気や健康に関して相談できる身近な組織や団体を知っている

- 第7章：健康を維持する行動を心がける
- ・健康を維持するためには栄養や食生活に気を付けることが大事だ
  - ・健康を維持するためには体を動かすことが大事だ
  - ・健康を維持するためには十分な睡眠や休養をとることが大事だ
  - ・健康を維持するためには規則正しい生活をすることが大事だ
  - ・健康を維持するために達成したい目標や楽しみをもつことが大事だ
  - ・仕事やボランティアなどの活動に取り組むこと
  - ・趣味や楽しみに一緒に取り組む仲間を大切にしたい
  - ・家族や友人との会話を楽しみたい
  - ・健康を維持するために定期的に健康診断を受けることは大事だ
  - ・健康を維持するためにかかりつけ医をもつことは大事だ
  - ・健康を維持するために歯の治療や口腔ケアに取り組むことは大事だ

### 形成的評価

- ・ Web授業の各回に事前チェックリストと事後チェックリストを受講生が記入
- ・ 事前チェックリストスコア<事後チェックリストスコアであれば学習効果あり
- ・ 受講生7名に教材評価のレポート執筆を依頼⇒内容分析